



Enjoy East! 仙台東高校はいつでもどこでも生徒が主役です 発行者:宮城県仙台東高等学校

東高だより

Vol. 2

〒984-0832 仙台市若林区下飯田字高野東70番地

Tel 022-289-4140 Fax 022-289-4383

HPURL <https://higasi-h.myswan.ed.jp/>

第168回芥川賞受賞

佐藤厚志氏講演会

[本校11回生]

10月2日(月)

10月2日の午後に、本校OBである小説家の佐藤厚志さんをお迎えして、インタビュー形式による特別講演会を実施しました。

今回の講演ではGoogle フォームを活用して、事前に全校生徒から佐藤さんへの質問事項を募集し、集まった質問事項の中から、インタビュアーを務める代表生徒がいくつかを選び出して佐藤さんに質問することにしました。また、それに加えて全校生徒にはiPadを体育館へ持参してもらい、リアルタイムでの質問も受け付けました。

質問内容は、芥川賞受賞作品「荒地の家族」に関すること、仙台東高校の先輩である佐藤厚志さんに聞いてみたいこと、の2つが中心でしたが、インタビュアーが繰り出すような質問にも、佐藤さんはユーモアを交えつつ丁寧に答えてくださいました。

在校生は皆、自分たちの先輩が社会で活躍していることを誇りに思いながら、熱心に耳を傾けていました。

佐藤 厚志 氏

宮城県仙台東高等学校
英語科 11回生
(2000年3月卒業)

〈略歴〉

1982年 宮城県仙台市生まれ。
東北学院大学文学部英文学科卒業。
仙台市在住、丸善仙台アエル店勤務。



- 2017年 第49回新潮新人賞を「蛇沼」で受賞。
- 2020年 第3回仙台短編文学賞大賞を「境界の円居」で受賞。
- 2021年 「象の皮膚」が第34回三島由紀夫賞候補。
- 2023年 「荒地の家族」で第168回芥川龍之介賞受賞。



《生徒の感想》

自分と同じ学校で学校生活を送った佐藤さんの話を聞いて、将来についてより身近に感じて考えることができた。また、私はあまり小説を読んだり、作者について考えたりすることがなかったので、今回話を聞いて、自分の知らない世界について知ることができたのは良い経験になった。

小説とは、成功のない成功を探していくようなものだと佐藤さんがおっしゃっていたのが印象的でした。

興味を持ったことに取り組みば佐藤厚志さんみたいに夢に繋がるかもしれないので、興味のあるものを見つけるのが大切と思った。そして興味あるものから得意かもしれないものに絞るのも大切なんだと講演を通して考えた。

